

## ゲートキーパー養成講座（愛知県知多市）

**【概要】**

自殺の危険性が高い人の早期発見、早期対応を図るため、自殺の危険を示すサインに気づき、話を聴いて、見守りながら必要な相談、支援機関につなぐ人材の養成を行い、ひいては地域で見守り支えあうための体制を構築していくことを目的とした事業。民生委員のほか、食生活改善推進員、認知症サポーター、子育て支援事業に携わる方等、市民と接する機会が多いさまざまな職種を対象に実施する。実施回数は全5回、受講者数は各回20人。開催時期は関係機関と調整して決定する。また、受講者に対して啓発用グッズ（ゲートキーパーであることが記された缶バッジ）を渡すことで、市民に対してゲートキーパーを周知する。

**【大綱の分類】**

- 2) 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
- 4) 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る

**【政策パッケージ分類】**

- 基本 2-1) さまざまな職種を対象とする研修  
基本 3-1) リーフレット・啓発グッズ等の作成と活用

**【事業実施年度】** 2020 年度

**【事業予算】** 171,000 円

**【利 点】**

- ▼幅広い分野での自殺予防を意識した活動が期待される。
- ▼民生委員だけでなく、市民と接する機会が多い職種にも対象を拡充することで、ゲートキーパーを身近に感じやすい。
- ▼担当部署へ講座開催の呼びかけを行うことで、その部署への理解を求める機会となっている。

**【実施に至るまで】****現状・必要性**

- ①知多市では、知多市自殺対策計画で「令和4年までに自殺者数を年間10人以下」「自殺死亡率12.2以下」とすることを目標にしている。
- ②自殺の原因・動機としては男女ともに「健康問題」が最も高く、次いで、男性では「経済・生活問題」が、女性では「家族問題」が高い傾向にあり、様々な分野で対応が求められる。

**計画を立てる上での工夫**

- ①講座は、傾聴の実技を取り入れるなどして、日頃の関わりの中ですぐに活かせるものにした。
- ②関係部署と相談し、多くの人が参加しやすい日時に開催した。

**具体的な内容**

- ▼講座は150分間
  - ・保健師による講義「ゲートキーパーとは」
  - ・公認心理師による講義、実技「こころに寄り添うコミュニケーションを学ぶ～傾聴と共感～」
- ▼ゲートキーパーの周知

- ・受講者に対して啓発用グッズ（ゲートキーパーであることが記された缶バッジ）を渡す。
- ▼**出前講座も実施**
- ・市民から依頼があれば、出前講座でもゲートキーパー養成講座を実施する。

**【成 果】**

- ▼受講者数の増加（累計 2019 年度 473 人→2020 年度 562 人）
- ▼ゲートキーパー養成講座受講者のうち、講座終了後のアンケートで講座の内容や自殺対策への理解について「理解が深まった」と回答した人の割合が 80%を超えている。
- ▼全体的に受講姿勢が熱心で、前向きだった。
- ▼缶バッジの配布について NHK や新聞に取り上げられ、市民だけでなく多くの人にゲートキーパーの周知ができた。

**【補 足】**

- ▼受講者に配布される缶バッジ



**【課 題】**

- ▼ポスターを掲示、啓発チラシを配布することで、広く周知を行ったが、今後も継続して市民の目に留まるような情報発信を行う必要がある。

【事業種別】	人材養成事業
【準備期間】	約 60 日
【人 数】	2 人
【人口規模】	85,377 人
【財政規模】	¥36,700,000,000
【自治体負担率】	50%（愛知県地域自殺対策強化事業費補助金）
【事業対象】	民生児童委員、食生活改善推進員、農村生活アドバイザー、認知症サポーター、子育て支援に携わる方等市民に接する機会の多い人
【支援対象】	様々
【委託の有無】	無
【実施主体・問合せ先】	知多市健康文化部健康推進課 TEL : 0562 (54) 1300 Mail:hokennet@city.chita.lg.jp

**【参考資料・文献】**

1. 知多市自殺対策計画  
<https://www.city.chita.lg.jp/docs/2019031800037/>